

技術者によるモバイルワークの 生産性向上に向けて 堅牢・高性能の 2-in-1 ノート PC を採用



お客様プロフィール

JREM

JR東日本メカトロニクス株式会社

製造業 | 日本



デル・テクノロジーのノート PC は、技術者用のハイスペックな製品としてかねてから使用しており、24 時間 365 日のサポート対応が保証されている上に故障率が低く、性能も良いので高く評価してきました。今回の 2-in-1 タイプの導入で技術者によるモバイルワークの効率性、生産性が一層向上すると期待しています。

JR 東日本メカトロニクス 株式会社

経営企画本部 働き方改革推進部 部長

兼 ダイバーシティ推進課長

齊藤 宗則 氏

ビジネス課題

東日本旅客鉄道（JR 東日本）の 100% 出資子会社として、Suica をはじめとする交通系 IC カード関連のソリューションや駅務機器・駅設備の企画、設計、開発、販売、設置、メンテナンスなどを手がける JR 東日本メカトロニクス。同社では、技術者によるモバイルワークの作業効率を向上させるべく、頑丈で高性能、かつ持ち歩きながら簡単に操作できるノート PC を求めている。

導入効果

- タッチ操作が可能なタブレットとしても機能するノート PC の採用で、技術者が現場作業を行いながら PC 操作ができる環境を整備
- デル・テクノロジーのノート PC が標準で備える、PC 画面ののぞき見防止の機能によってモバイルワークのセキュリティレベルを手間なくアップ
- 技術者による CAD ソフトウェアの日常的な使用と、将来的な Windows 11 への移行にも十分対応できるノート PC の性能を確保

ソリューション

- [Dell Latitude 7430 2-in-1 ノート PC](#)



駅設備と交通系 IC カードの安心と イノベーションを技術で支える

「安心」「信頼」「革新」の3つを企業理念として掲げる JR 東日本メカトロニクス（略称 JREM）は、JR 東日本グループの一員として 1992 年に設立された。以来、東京の本社と東日本を中心に広がる支店網を通じて、券売機や改札機、空調設備、昇降機、消融雪装置など、さまざまな駅務機器・駅設備の設置や保守を手がけるほか、駅務機器の企画・開発・製造・販売も事業として展開する。

また、交通系 IC カードのリーディングカンパニーとして、Suicaをはじめとする交通系 IC カードの利便性を向上させる各種ソリューションの開発・提供も事業の柱としている。従業員の数は 1,441 人（2023 年 4 月時点）。その多くを設計・開発担当の技術者や駅務機器・設備の新設工事、保守などを担う技術者が占めている。

働き方改革の一環として 2-in-1 タイプのノート PC を採用

JR 東日本メカトロニクスでは従業員のダイバーシティの確保や働き方改革にも力を注いでいる。2023 年 7 月には働き方改革推進部を発足させ、同部のもとでダイバーシティや社内のシステム化を推進する体制を整えた。この取り組みについて、経営企画本部 働き方改革推進部 部長の齊藤宗則氏は次のように説明する。

「当社では 2019 年ごろから、女性活躍を推進すべくダイバーシティの取り組みを始動させ、それが働き方改革の取り組みへと発展していき、社内 IT 環境の整備へとつながっていきました。現在はハイブリッドワークを働き方の基本にしなが、オフィスではフリーアドレス化も図り、従業員各人がその時々の仕事内容に応じて働く場所を自由に選べる環境も整えています」



JR 東日本メカトロニクス 株式会社
経営企画本部 働き方改革推進部 部長
兼 ダイバーシティ推進課長
齊藤 宗則 氏



PC の情報セキュリティ管理を徹底するのが当社の基本方針です。その意味で、Dell Latitude に『のぞき見』を自動で防止する機能が標準で備わっていたことは、対策強化の手間とコストを低減する上で非常に有益で助かりました。

JR 東日本メカトロニクス 株式会社
経営企画本部 働き方改革推進部
社内システム推進課 課長
田口 秀和 氏

齊藤氏によれば、同社では旧来、厳格なセキュリティポリシーのもと、業務用 PC を自席から持ち歩くことにも厳しい制約があったという。ただ、働きやすい環境づくりを目指す中で、そうした制約を徐々に緩和していき、業務用 PC を全てノート PC へと切り替えた。併せて、自席から離れた場所でも PC が使えるようバックヤードの IT / ネットワーク環境も整えた。

結果として、新型コロナウイルス感染症が流行した際も「テレワーク体制への移行が難なく行えた」と、働き方改革推進部で社内システム推進課 課長を務める田口 秀和氏は振り返る。

そのような IT 環境整備の一環として、技術者用を中心とする PC として新たに 700 台の導入を決めたのがタブレットとしても機能するデル・テクノロジー（以下、デル）のノート PC「Dell Latitude 7430 2-in-1」である。同社では 2023 年 8 月に 700 台の導入を済ませ、運用を開始している。

24 時間 365 日のサポート対応と 堅牢性への評価からデルの PC を継続使用

JR 東日本メカトロニクスがデルの PC を導入したのは今回が初めてではない。同社では、2015 年から業務用 PC の標準機としてデルの PC を使用しており、2019 年にはデルのノート PC を 700 台導入した。今回の Dell Latitude 7430 2-in-1 は、その後継機として採用されている。

「2019年におけるノートPCの導入では、デルの製品のほかにもう1つ他社の製品を用意しました。このうち他社の製品はノートPCの携帯性を重視する従業員に向けたもので、デルの製品は処理性能の高さを重視する技術者に向けて用意したハイスペックのノートPCです。当社の技術者の中には、駅務機器・駅設備の設計、開発、新設工事、保守の担当者など、CADソフトウェアを日常的に使う人が大勢います。ゆえに、技術者用のPCには高い処理性能とコストパフォーマンス、そして安定した動作が必要とされ、デルのノートPCはその要件をしっかりと満たしていました」（田口氏）

また、デルの法人向けノートPCには、保証期間中、24時間365日のサポート対応が約束されている。同社はその点も高く評価しており、デルのPCを長く使い続けている理由でもあるという。

「当社では、駅設備の故障の受け付けから保守要員の手配までを一元的にコントロールする『オンコールセンター』を24時間365日体制で運用しています。その関係から、従業員が使うPCについても24時間365日体制で故障に対応してくれることが重要でした。そうした保守要件を満たされるPCベンダーは意外なほど少なく、それがデルのPCを長く使い続けてきた1つの理由になっています」（齊藤氏）

加えて、デルのノートPCの場合、耐久性に優れた素材を採用し、米軍調達規格（MIL-STD-810）に準拠している。そのため、落下や衝撃に強く壊れにくいといった特長もある。

「実際、デルのノートPCは故障率がとても低く、以前使用していた700台のノートPCにしても年間に数台の故障が発生するというレベルでした。コストパフォーマンスの高さに加えて、24時間365日のサポート体制への安心感、そしてノートPCの堅牢性への信頼感が、デルの製品の継続利用につながっています。今回導入した700台のDell Latitude 7430 2-in-1



も、初期不良はほとんど見られていません」（田口氏）

モバイルワークの快適さと 強固なセキュリティを確保

前回採用したデルのノートPCはあくまでも技術者による社内での携行使用を前提にしたものであり、それに対して、今回採用したDell Latitude 7430 2-in-1は、技術者による社外でのモバイルワークを前提にしたものであるという。その機種選びを進める中で、社外における設備工事の現場や保守の現場で働く技術者から、現場での使用を想定するならば、一般的なノートPCよりもタッチパネルを採用したタブレットの方が利便性は高いとの声が多かった。そうした現場のニーズを取り入れたことが、Latitude 7430 2-in-1の選定につながったと齊藤氏は明かす。

「タブレットであれば工事や保守の現場で作業をしながら、タッチ操作でCAD図面を呼び出したり、参照したり、資料を編集したりが簡単に行えます。とはいえ、机上でCAD図面を書いたり、多くのデータを入力したり、ソフトウェア開発の作業を行ったりするには一般的なノートPCの使い方が適しています。また、技術者の全員がタブレットを必要としているわけでもありません。そこで、2-in-1タイプのノートPCを選ぶことにし、処理性能としてCADソフトウェアの使用や将来的なWindows 11への移行に十分対応できるハイスペックのLatitude 7430 2-in-1を採用しました」（齊藤氏）

一方、Latitude 7430 2-in-1を選定したJR東日本メトロニクスで

Dell Latitude
7430 2-in-1の
導入台数
700台

メンテナンス技術者による現場作業の
効率化に向けた環境を整備

は、そのセキュリティ強度を高めるために PC 画面の「のぞき見」を防止する対策を相応の手間とコストをかけて追加で実施しようと考えていた。ただ、Dell Latitude 7430 2-in-1をはじめとするデルのノート PC には「のぞき見検知※ 1」や「ルックアウェイ検知※ 2」などを実現する「Intelligent Privacy」の機能が標準で備わっている。そのため、同社では手間とコストをかけることなく、のぞき見防止の対策ができた。

「技術者が PC で扱う情報は機密性が高く、社外でのノート PC の使用時に第三者に画面をのぞき見されるリスクは徹底して回避したいと考えていました。そのため、Intelligent Privacy によって、のぞき見防止の仕組みを手間とコストをかけずに実現できたことは本当に助かりましたし、デルのノート PC を採用して正解だったと改めて感じました」（田口氏）

※ 1 Intelligent Privacy のぞき見検知機能：第三者が PC 画面をじっと見つめているときに、ユーザーにそれを知らせ、画面を暗くする、ないしは、ぼかしを入れる機能

※ 2 Intelligent Privacy ルックアウェイ検知機能：ユーザーの視線が PC 画面以外に向いていることを自動的に認識し、画面を暗くする機能

Intelligent Privacy は、デルのビジネス PC に標準搭載されている Dell Optimizer の機能のひとつです。Dell Optimizer は AI がユーザーの PC の使い方を学習してパフォーマンスを向上させるソフトウェアです。Dell Optimizer の詳細は[こちら](#)からご覧ください。



JR 東日本メカトロニクス 株式会社
経営企画本部 働き方改革推進部
社内システム推進課 課長
田口 秀和 氏

働き方改革の推進力として デルのノート PC に期待をかける

JR 東日本メカトロニクスが Dell Latitude 7430 2-in-1 の運用を開始してから、それほどの時間は経過していない。そのため、同製品が技術者の業務効率の向上にどの程度貢献しているかはまだ見えていないものの、同製品に対する社内の評判は上々で、技術者による活用も進んでいると齊藤氏は話す。

「技術者たちからは『タッチ操作で PC が使えるのは便利』といった声が聞こえてきます。支店の技術者と仕事を際にも、彼らは当たり前のように Latitude 7430 2-in-1 をタブレットとしても活用し、作業を進めていました。2-in-1 タイプのノート PC を導入したのは今回が初めてなので、技術者たちが、そこに利便性を感じてくれているかどうかが不安でした。ですが、そうした不安は杞憂に過ぎず、Dell Latitude 7430 2-in-1 を活用してくれています」（齊藤氏）

また、処理性能や動作の安定性に関するクレームも寄せられていないようだ。そうした点を踏まえながら、齊藤氏は Dell Latitude 7430 2-in-1 の活用の進展に次のような期待感を示す。

「今後、技術者たちが Dell Latitude 7430 2-in-1 の扱いにさらに慣れ、社外の現場で CAD 図面を参照したり、資料を編集したり、グループウェアを使ったりするといった活用のスタイルが定着すれば、彼らの業務の効率性、生産性は大きく向上するはずだ」

齊藤氏によれば、こうした Dell Latitude 7430 2-in-1 に対する期待の大きさと評価の高さから、同製品の導入に続き計画されている 900 台のノート PC の刷新においても、デルの製品を従業員による選択が可能な機種に加えることを予定しているという。同社による働き方改革の推進力として、デルのノート PC はその活躍の場を広げつつある。

